

「さあ、みんなで、考えよう」

リバティおおさか6月1日休館

～ 35年の歴史に幕 2年後に別の場所での再開めざす ～

日本で唯一の人権問題の総合博物館である大阪人権博物館（リバティおおさか）が現在の場所・建物での35年の歴史の幕を閉じます。同館は大阪府と大阪市が全面的に支援し、1985年に大阪人



権歴史資料館として出発し、95年に大阪人権博物館と改称してリニューアルオープンしました。部落問題のほか、障がい者や性差別、在日コリアン、アイヌ問題など多岐にわたる人権問題の展示・研究に取り組み、総入場者は約170万人となっています。柘植地域のみなさんもフィールドワーク等で行かれた方がたくさんおられると思います。

大阪の知事、市長を務めた橋下徹さんらの方針転換により、大阪府・大阪市は2013年に補助金を撤廃し、同館は自主運営の道を選び、存続の危機に陥っていました。大阪府は同館の撤去と敷地の返還を求めて2015年7月に提訴し、同館は「政治的意図に基づく行政権力の乱用だ」と主張し、存続と発展のために裁判闘争を闘ってきました。市に土地所有権があることが重く、裁判で



は、和解協議に移行し、6月中に決着する見通しとされています。同館は2年後の2022年に全国水平社創立100周年であることもうけて、今の場所でない、新しい場所での再建を目指す方針を打ち出し、今年3月に6月1日からの休館を決めていました。

本年度の柘植地域人権啓発合同事業について

毎年、各区が主体となり行っている人権啓発地区別懇談会の意義と内容を大切にしながら、それに加えて柘植1・2区全体で2年1サイクルとして人権啓発合同事業(近隣・遠方の年2回のフィールドワーク、合同映画会、各区地区別懇談会の報告と還流)を行っています。

しかし、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等より、下記のようにさせていただきます。

本年度の人権啓発合同事業の変更内容

- ◎例年5月頃に実施の近隣フィールドワークの中止
[滋賀県甲賀市の「やまなみ工房」の予定だった]
- ◎映画会は全区の開催日や上映作品紹介チラシをつくっての合同事業では行わない
状況を見ながら、実施可能な範囲で今後、各区で検討する
- ◎遠方フィールドワークは秋から冬にかけて実施する方向で計画
水平社博物館と奈良市南人権文化センターのフィールドワーク予定だったが、行き先、日時を含めて状況を見ながら計画(状況次第では最終的に講演会等への変更も含む)

本年度の主な人権関係事業の状況(5月29日現在)

- 三重県人権・同和教育研究大会 10月17日(土)、18日(日) [東紀州]
- 全国人権啓発研究集会(部落解放研究三重県集会併催) 12月17日(木)、18日(金) [津市]
- ? いがまち人権・解放講座 (現在、状況を見ながら開催日等を検討・調整中)
- ? 地区別懇談会リーダー研修会 (現在、状況を見ながら開催日等を検討・調整中)
- × 全国人権・同和教育研究大会(新潟県) → 中止
- × 部落解放研究全国集会(北九州) → 中止

本年度の第1回「人権・同和部会」開催のお知らせ

柘植地域まちづくり協議会人権・同和部会をいがまち人権センターで7月3日(金)20時から30分以内限定内容で再開(本年度第1回目の開催)します。

昨年度までの部会員さん及び本年度より新たに部会参加希望の方は、気軽にご参加ください。